

第9回常任理事会議事録

日 時 平成 21 年 2 月 17 日 (火) 19 時～20 時 40 分
会 場 宮崎市郡医師会臨床検査センター 食堂
参 加 日野浦 津曲 岩田 日高 田邊 佐藤 花牟禮 内山 松尾 伊豆 清山
議事録担当： 伊豆

・第8回常任理事会議事録確認

・報告事項

1、会長挨拶

- ・代議員会報告。平成 20 年度は事業が計画通りに行われ、平成 21 年度事業計画案も了承された。
- ・技師連盟会議報告。今後の政局をみながら、法改正の働きかけを続けていく。
- ・日臨技 e ラーニング調査について
初心者向けに「血液像の見方」について e ラーニングを実施する。
2 月 28 日までに各県技師会から受講者 2 名を推薦・アンケート回答することとなった。
血液検査に携わっているが、周囲に指導者がいない。遠隔地で研修会参加が困難。職場または個人がインターネット環境にあり、連絡用にアドレスを所有する等の条件を満たす会員を推薦。
早急に血液研究班で該当者を探し推薦する。
- ・日臨技の定款・諸規定委員会が 2 月 21 日にある。
- ・大分県技師会の法人化 20 周年・創立 55 周年記念式典が 2 月 22 日に開催される。
- ・日臨技福利厚生制度・リンクスを会員は活用して欲しい。

2、事務局

①事務

・事務連絡

- ・健康福祉まつりの申請書類が日臨技に届いておらず、再提出した。3 月 14 日の理事会で審議される。
- ・日臨技総会委任状が 30 施設分、届いている。100 名分を 1 束にまとめて規定の袋に入れる。
- ・プロモーション地区委員会報告
講演会報酬・旅費等は基本的には主催業者が負担できるが、共催相手が医療機関等の場合で、講師が当該医療機関等の所属員である場合は、共催相手が負担しない場合、旅費のみを負担できる。
一般検査研修会開催日前後に企画されている、メーカー主催のセミナーは、予算面や講師の選定などが主催メーカーで企画されており、本来の共催ではなく名義共催が可能か確認をする。
- ・支払い調書について
2 月 21 日開催予定の生理研究班研修会に鹿児島共済会南風病院の牟田光明技師を講師に招く。
今回、講師に対し支払い調書を発行したい。また、一般検査研修会の講師に対しても講師から支払い調書を求められることが想定される。
第 56 回日本医学検査学会で、発行した支払い調書・領収書に倣い、準備をすることが了承された。
- ・糖尿病関連事業について
平和台病院、古賀総合病院、古賀駅前クリニックを中心に平成 20 年は 3 事業に参加した。
今後も、糖尿病対策推進会議協力団体として宮臨技も参加協力をする。
- ・永年職務奨励者表彰の該当者 4 名の内、平成 21 年度会費納入済みは 2 名であった。(2/2 現在)
- ・県保健・医療・福祉関連団体協議会講演会が 3 月 30 日県医師会会館で開催される。
- ・鹿児島県技師会会長より、九州地区技師会女性部会設置状況・活動状況調査依頼が来ている。
- ・日臨技リンクスの新人向け案内、日本マタニティビクス協会ポスターが届いている。
- ・宮崎県糖尿病宿泊講習会実行委員会の案内が届いている。(出席回答済み)
- ・賛助会員入会と広告掲載についての文書案を一部修正の上、3 月 1 日付けで発行する。

②庶務

- ・1 月開催の生涯教育は 5 件。平成 20 年度の参加者未登録が 3 件あり、担当者に連絡し登録をお願いします。
- ・平成 20 年度の会費未入金者に対し、督促状を発行した。

③会計

- ・平成 20 年度会費納入状況。1 月 25 日現在 283 名が入金済み。予算では 380 名。
- ・支出では、コピー機を購入した為、消耗什器備品費が当初予算に対し 40 万超となっている。
- ・現在、通帳が 5 冊あり、第 56 回日本医学検査学会会計の通帳を整理し、宮臨技一般会計とまとめたい。
- ・賛助会員収入は、シーメンス 2 万円、シノテスト 1 万円であった。

3、組織

- ・会員の調査事業について

現在、17 施設に未入会 26 名の技師がいる。今回の調査は人数の把握のみで常勤・非常勤は不明。また、調査漏れの可能性もある。

生涯教育事業参加者中の非会員内訳は、賛助会員（メーカー）、入会前の新人、未入金の会員等の場合がある。

研修会等で非会員に対し参加料を徴収するなど、正会員との差別化で入会を促す必要もあるが、機会あるごとに、入会を勧める。

4、学術

1) 会誌第 89 号編集進捗状況について

- ・カラー写真はページをまとめて掲載するが、印刷費が当初見積もりより 2~3 万円高くなるが、予算内に収まる予定。2 月中には印刷に取りかかりたい。
- ・AED 講習会の新聞記事（複写）掲載については、新聞社に了解を得る。また、社名を明記した記事とし、掲載した会誌（該当頁の複写）を送付する。
- ・定期総会の頁について、原本の書面評決票の欄を票決結果と出席者数の報告とする。

2) 一般検査研修会について

毎週木曜日に勉強会を開催する予定。

講師派遣に関する予算については、研究班の予算で賄う。

3) 2009 年精度管理調査にかかる物品購入について

- ・施設間差是正サーベイにかかる必須備品・消耗品（プール血清、分注容器、ラベル等）を宮臨技予算で購入して欲しい。
- ・機器・試薬メーカーも参加してもらい、参加費・協賛費を徴収し購入費・運営費に活用したい。
- ・日臨技、県医師会からの補助が将来、打ち切りになると予算的に事業継続が難しくなる。
- ・臨床化学研究班以外も精度管理が不可欠で、一班のみを優遇できない。
- ・参加費を徴収し、経費の不足分を宮臨技予算から支出することとする。（2~3 万円程度）
- ・プール血清購入の経費を来年度から予算化する。

審議事項

1) 平成 20 年度第 3 回九臨技会議出席について

日野浦会長、岩田副会長、日高事務局長の 3 名が出席する。

2) 一般検査研修会について

鏡検実習用尿試料の提供協力要請文書。

4 月開催予定の勉強会に招く講師への、講師依頼及び施設長宛の派遣依頼。

コンベンション協会に企画申請。以上の文書発行が了承された。

3) 第 56 回日本医学検査学会会計の通帳について

通帳を整理し、日本医学検査学会会計の通帳を宮臨技一般会計とまとめることが了承された。横山司法書士と相談の上、一般会計の予算に組み込むこととする。

次回 平成 21 年 3 月 17 日(火) 開催予定